

欧州船用メーカーの雄、バルチラ社(本社フィンランド・ヘルシンキ)とライセンス契約を締結

令和2年2月28日、栗林商船は Wartsila(バルチラ)社とゲートラダー技術にかかる今後の開発・利用展開に関し合意に至りました。

ゲートラダー技術には以下のような特徴があります。

- ・燃費消費量の低減、排出ガスの削減
- ・海上の気象状況の如何を問わず、安定した直進性能、優れた操船性
- ・騒音・振動を激減する革新的なデザイン

栗林商船は、Smart Marine ビジョンを掲げる船用業界のテクノロジーリーダーである Wartsila 社と、ゲートラダー開発に寄与したすべての特許権者との同意のもとにライセンス契約を締結致しました。また今後のゲートラダーの開発、販売、アフターサービスにおける協力協定も併せて締結しております。

本合意は、栗林商船の下、関連特許保有者でありパートナーである、かもめプロペラ社、海上・港湾・航空技術研究所、山中造船、佐々木紀幸教授(敬称略)との同意のもとになされました。

Wartsila 社は令和2年3月30日付のプレスリリースにおいて、ゲートラダーをその船舶推進設備関係製品のデザインと調和させていく意図であることを発表しております。

今後、日本ではかもめプロペラ社、欧州、米国においては Wartsila 社を中心、更に中国・韓国等の地域ではかもめプロペラ社、Wartsila 社の両社が相互に市場を開拓し、益々のゲートラダー技術の普及が期待されております。

栗林商船は、Wartsila 社の有する推進・動力伝達関連機器・技術との結合により、今後のゲートラダー技術の発展が更に加速して行くものと期待しております。

また Wartsila 社のネットワークを通じ、より多くの船主様、海事関係者他、より多くの皆様がゲートラダーにふれる事が出来る機会が増えたと期待しております。

Wartsila 社 船舶推進器販売部門の所掌役員である Lars Anderson 氏は、「Wartsila 社では常に、保守管理維持費低減、継続可能な運行管理のために、新たな技術革新を求める顧客の要望に応えることに全力を尽くしてきました。」

「ゲートラダー技術には大きな潜在的な発展性があり、栗林商船様、日本の特許権者様との協同提携は、この顧客ニーズに応える理想的なパートナーシップだ。」と述べております。

弊社会長で、ゲートラダーの発明者でもある栗林定友も

「Wartsila 社との提携は、ゲートラダー技術を世界に普及させる大きな一歩となった。」

「ゲートラダー技術は今後海運業界に維持費低減と持続可能性をもたらすことになるであろう。」

「革新的なアプローチで創造されたこの技術により、すでに最初のゲートラダー搭載船で大幅な燃費削減と操船性の向上が確認されている。」

「グローバル企業として名高い Wartsila 社とのパートナーシップはよりクリーンで、維持継続可能な海運業界の効率化を実現には理想的なパートナーシップだ。」と応じています。

従来のラダー設置とは異なり、ゲートラダーではプロペラを囲うように二つのラダー（舵）が設置されています。一種のダクト効果と呼ばれる効果により、ゲートラダーは推進効率向上、燃料消費・排出ガス削減、騒音振動低減を実現しています。

ゲートラダーコンセプトはコンベンショナルなプロペラを有す全ての船に適用可能です。